

資料 12-3

研究開発局宇宙開発利用課
革新的将来宇宙輸送システム実現
に向けたロードマップ検討会
(第12回) R3.12.24

「革新的将来宇宙輸送システム実現に向けたロードマップ検討会」

第12回における議論の論点（段階的な事業化）

文部科学省 研究開発局

宇宙開発利用課

- 2040年代前半の「高頻度往還型」の実用化までは長期間掛かるが、段階的な事業化に向けて、例えば5年ごとに技術実証の到達点を定める場合、どのような技術レベルの設定が想定されるか。

（段階的な事業化と必要な技術レベル）

	2026年頃	2030年頃	2035年頃	2040年頃
有 人	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●打ち上げ能力 ・高度/〇人乗り ●打ち上げ価格 ・1回当たりの費用 ●再使用 ・〇段再使用 ・打ち上げ間隔 	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>
無 人	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●打ち上げ能力 ・高度/質量 ●打ち上げ価格 ・1回当たりの費用 ●再使用 ・〇段再使用 ・打ち上げ間隔 	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>	<p>(予想される事業)</p> <p>(必要な技術レベル)</p>